



男前じゃ、見に行こう——6月7日生まれ変わった武市半平太像

## 久遠のふるさと

### 競輪の功罪

市長 谷 嘉 亀

去る四月、東津野村にB&G財団の海洋センターが完成した。山に海洋センターがと誰もが思っただろう。財団では競艇で得た収益を、広く国民に還元する趣旨からどこへでも建設しているという。数年前、須崎へも是非に要望したことがあるが、「競輪、競馬、競艇等、公営競技を実施していない市町村に限る」という規程があり、実現しなかった。

本市は六市町村で組合競輪を、年一回(六日間)開催しているのである。

配分金は四十九年の二千万円をピークに漸減、近年ようやく回復しつつあり、昨年度は九百余万円であった。

ところで、市は本年度、特別養護老人ホームの建設を計画し、日本自転車振興会の補助金を要請した。一県に二つは絶対ダメと言われながらも、序列は二番でよいからと、とも角、申請していただいたが、案の定、厚生省も県も一年遅らすようにと言う。だが引つ込む訳にはいかない。各方面の大変なお力添えをいただき、粘りに粘り、随分お叱りもつけたが、とうとう約二億円の補助が決定し、建設の目途がついた。ただ感謝の念で一杯である。この補助金は競輪による収益を配分するものであることから、年一回とはいえ、競輪の経営団体という特別の配慮をいただいたことも事実。有難い結果をもたらず一因になったと思うと、競輪様々といいたくなる。

競輪をお奨めする訳ではないが市も参加する組合競輪は七月四、五、六日と十二、十三、十四日に開催される。

# 広報 すさき 7 月号 No. 373

昭和61年7月1日 / 発行所：須崎市役所 / 編集責任者：企画課長 / 印刷：中央印刷(株)

(1) 5月31日の人口31,662人(男15,574人・女16,088人)世帯数10,456世帯